

【2020 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/心理学系/旧カリキュラム】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
神経心理学		必修 (心) 選択 (理、作、社、精)	2	2,3,	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
永井 正則	B 304	mnagai	水木 12:00~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>人の脳の働きや心の状態が人の行動や体の働きに与える影響についての知識を学ぶことで、将来、福祉やリハビリテーションの現場に立つときに役立つ理解力、洞察力を身につける。</p> <p><概要>各回、学習内容・学習課題の欄に記載されたテーマについて、配布資料と Teams を用いた同時双方向授業により学習する。</p>				
学習上の助言	福祉心理学科の学生は、「発達心理学」や「精神疾患とその治療」などの知識と関連づけながら聴講してほしい。理学療法学科と作業療法学科の学生は、「生理学」、「高次脳機能学」などの知識と関連づけながら聴講してほしい。				
教科書	教科書は指定しない。Teamsにより事前に講義資料を配信する。教科書的なものを手元に置きたいという学生には、希望に沿った書籍を紹介する。				
参考書	<p>1)精神免疫学の世界 ころと体の対話/著：神庭重雄/文春文庫</p> <p>2)デカルトの誤り 情動、理性、人間の脳/著：アントニオ・ダマシオ/ちくま学芸文庫</p> <p>3)生理学 (第3版) /著：内田さえ 他/医歯薬出版 (1年次使用のもの)</p> <p>4)人体の構造と機能及び疾病 (第3版) /社会福祉士養成講座編集委員会/中央法規 (福祉心理学科1年次使用のもの)</p>				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	ニューロンの機能と神経系の基本的構成について理解し説明できる。			HSU(2), (3), (5)	
②	高次神経機能について理解し説明できる。			HSU(2), (3), (5)	
③	情動と意思決定、情動と生体反応について理解し説明できる。			HSU(2), (3), (5)	
④	神経心理学の立場からストレス対処法や健康の維持について理解し説明できる。			HSU(2), (3), (5)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	序：心のありか：心や精神がどのように考えられてきたかを歴史的に理解する。情動が体の働きや個人の社会行動と密接にむすびついていることを学ぶ。	同時双方向型授業	事前配布資料を精読する。以下の課題について講義内容を整理する。 課題：知・情・意、精気説、心身二元論、ソマティック・マーカー仮説	4	
2	神経系の構造と発生：脳や脊髄のマクロな構造を学ぶ。神経系の発生について学ぶ。		事前配布資料を精読する。以下の課題について講義内容を整理する。 課題：脳と脊髄の構造、神経系の発生	4	
3	ニューロンの働き①：ニューロンの機能的構成を学ぶ。ニューロンによる A-D 変換、ニューロンネットワークなどについて学ぶ。		事前配布資料を精読する。以下の課題について講義内容を整理する。 課題：ニューロンの機能的構成、ニューロンによる A-D 変換、ニューロンのネットワーク	4	
4	ニューロンの働き②：ニューロンによる情報伝達のメカニズムを学ぶ。受容体刺激薬や遮断薬の精神心理学への応用例について学ぶ。		事前配布資料を精読する。以下の課題について講義内容を整理する。 課題：シナプス伝達、シナプス伝達の修飾	4	
5	末梢神経系①：体性神経系の構造を学ぶ。反射について学び、フィードバック制御の概念を理解する。		事前配布資料を精読する。以下の課題について講義内容を整理する。 課題：体性神経系、反射とフィードバック制御の概念	4	
6	末梢神経系②：自律神経の構成を学ぶ。自律神経調節に関わる神経伝達物質について学ぶ。		事前配布資料を精読する。以下の課題について講義内容を整理する。 課題：自律神経系の構造と働き、自律神経系の伝達物質	4	
7	感覚系①視覚：視覚系の構造、視覚情報処理、立体視のメカニズム、生態的視覚論からみた錯視などについて学ぶ。		事前配布資料を精読する。以下の課題について講義内容を整理する。 課題：視覚系の構造、視覚情報処理、立体視のメカニズム、生態的視覚論と錯視	4	

【2020年度/専門科目領域/専門基礎科目群/心理学系/旧カリキュラム】

8	感覚系②味覚・嗅覚：嗅覚・味覚の基本メカニズム、嗅覚と生体リズム、味覚と情動、鋤鼻器官などについて学ぶ。		事前配布資料を精読する。以下の課題について講義内容を整理する。 課題：嗅覚と生体リズム、味覚を情動、鋤鼻器官と組織適合抗原	4
9	感覚系③聴覚・前庭感覚・体性感覚：感覚発生のメカニズム、感覚伝導路、言語中枢と母語の獲得過程などについて学ぶ。		事前配布資料を精読する。以下の課題について講義内容を整理する。 課題：聴覚、前庭感覚、体性感覚、言語中枢と母語の獲得過程	4
10	中枢神経系①延髄・中脳・視床・視床下部：それぞれの部位の役割を学ぶ。		事前配布資料を精読する。以下の課題について講義内容を整理する。 課題：中枢神経系の構造と発生、脳幹と間脳の役割	4
11	中枢神経系②小脳、大脳皮質：小脳と手続き記憶、大脳皮質の機能局在、大脳半球の左右差などについて学ぶ。		事前配布資料を精読する。以下の課題について講義内容を整理する。 課題：小脳と手続き記憶、大脳皮質の機能局在、大脳半球の左右差	4
12	中枢神経系③大脳辺縁系：海馬と記憶、大脳辺縁系と情動および生体リズムとの関わりなどについて学ぶ。		事前配布資料を精読する。以下の課題について講義内容を整理する。 課題：海馬と記憶、大脳辺縁系と情動、情動と生体リズム	4
13	情動と情動反応：さまざまな情動反応について学ぶ。情動がコミュニケーションに果たす役割について学ぶ。		事前配布資料を精読する。以下の課題について講義内容を整理する。 課題：情動反応、情動とコミュニケーション	4
14	睡眠と覚醒のリズム：睡眠の構成と機能について学ぶ。現代人における睡眠の問題点と睡眠の質の向上について学ぶ。		事前配布資料を精読する。以下の課題について講義内容を整理する。 課題：睡眠の構成と機能、現代人と睡眠、睡眠の質の向上	4
15	脳・神経疾患：認知症と不安障害について学ぶ。		事前配布資料を精読する。以下の課題について講義内容を整理する。 課題：認知症、不安障害	4
試	定期試験 達成度評価・評価のポイント参照			

達成度評価

総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		100	0	0	0	0	0
総合力指標	知識・技術力	70	0	0	0	0	70
	思考・推論・創造する力	30	0	0	0	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0

評価のポイント

評価方法	行動目標		評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
	試験	①		
②		✓		
③		✓		
④		✓		
⑤				
⑥				
レポート	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			

【2020 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/心理学系/旧カリキュラム】

成果発表	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
備 考				
<p>Teams を使って遠隔授業を行います。課題ダウンロードなどがありますので、通信容量制限がある場合は通信料に十分に注意してください。同時双方向型授業は時間割に沿って行います。10 分前には準備を整えておいてください。今後、新型コロナウイルスの発生状況等により、シラバスが再び変更される可能性があります。</p>				